



おすすめ児童書5月

啓林堂書店 外商部

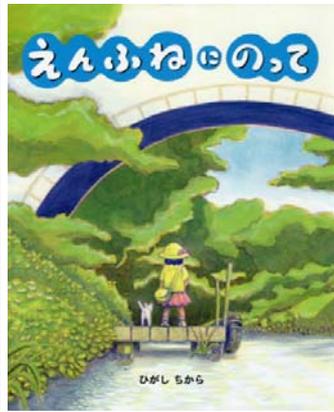
担当 森川・蔵田・渡辺・八部

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <http://www.books-keirindo.co.jp/>

▽ 幼稚園・保育園以上



えんふねにのって

作 ひがしちから

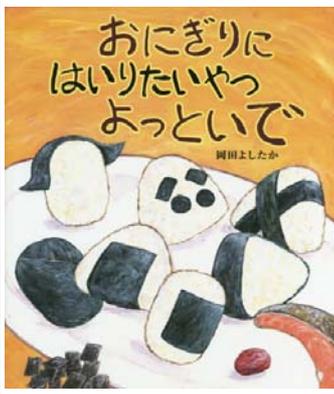
¥1,404

まきちゃんの幼稚園は川のそばにあります。だから「えんふね」に乗って幼稚園に通うのです。

今日も川を下って行くと、丸太が川をふさいでいて…。

どうなるのかな？人のつながり自然とのつながりが素敵な絵本です。

BL出版：2019年 発売



おにぎりにはいりたいやっよっといで

著 岡田よしたか

¥1,404

「ぐ」のっていないおにぎりたちが、「ぐ」を探しに旅に出る事にしました。けれども、裸のままではかっこわるいので、「のり」のお気に入りの服を着て出かけました。(のりの巻き方もたくさんあるのですね。)

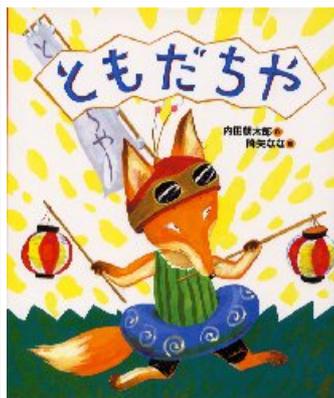
やがて探し出した 梅干し、たらこ、ツナマヨ…。

誰がどのおにぎりに入ったのかな？

細かい所まで笑って楽しめる絵本です。

佼成出版社：2019年 発売

▽ 小学生以上



ともだちや

文 内田麟太郎

絵 降矢なな

¥1,080

「えーともだちやです。ともだちはいりませんか」キツネが1時間100円で友だちになってあげる「ともだちや」を始めました。

その表紙のキツネの姿は、ともだちやをやるためには、どんなともだちが来てもいいように、うきわをつけて、バシバシ叩かれても大丈夫なヘルメットをかぶって…。キツネの覚悟が伝わってきます。

ともだちって何だろう？と考えるきっかけになる絵本です。

偕成社：1998年 発売



わたし

文 谷川俊太郎

絵 長新太

¥972

「やまぐちみちこ」という「わたし」を他の人から見ると…何なのかな？

赤ちゃんから見るとお姉ちゃん。お兄ちゃんから見ると妹。

「わたし」は「わたし」だけど、相手からみたらいろいろ立場が変わる—。

自分を客観的にみると、いろいろなものがみえてきて、おもしろいですね。

視点を変えることで見えないものが見えてきたりして…深い絵本です。

福音館書店：1992年 発売